

ニッセイ インターネットアンケート ～「コロナ禍で変化したこと」について～

日本生命保険相互会社(社長:清水博)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューの一つとして、ホームページ(<https://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「コロナ禍で変化したこと」に関するアンケート調査を実施いたしました。

《アンケート概要》

- 実施期間：2020年9月1日(火)～9月30日(水)
- 実施方法：インターネットアンケート(「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニュー)
- 回答者数：15,748名(男性:8,112名、女性:7,636名)

＜年代別回答者数＞

[名]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	525	1,072	1,812	2,413	1,508	782	8,112
女性	622	1,168	1,722	2,072	1,297	755	7,636
合計	1,147	2,240	3,534	4,485	2,805	1,537	15,748
占率	7.3%	14.2%	22.4%	28.5%	17.8%	9.8%	100.0%

《アンケート結果のポイント》

ポイント①

質問 1～5

【コロナ禍での生活の変化について】

- 半数以上の方が、「コロナ禍をきっかけに、新しく始めたこと、または量や頻度が増えたものがある」と回答。年齢が低い方ほど、その割合が高い傾向があった。
- オンラインショッピングを新しく始めた、または量や頻度が増えた方の1カ月あたりの平均購入額は、コロナ禍前後で約1.1万円増加した。
- オンラインショッピングの購入額が最も増えたものは「日用品」「食料品」で、それぞれ約4割の方が増加した。
- コロナ禍で貯蓄が増えた方の理由は「お金の使い道がなかった」「将来への不安から意識的に支出を抑えた」という回答が多かった。

ポイント②

質問 6～14

【夏季休暇について】

- 今年の夏季休暇の平均予算は約3.5万円で、昨年の約7万円から約半分に減少した。
- 夏季休暇の過ごし方は6割以上の方が「自宅・自宅周辺で過ごした」と回答し、「海外旅行」「国内旅行」「レジャー」「帰省」と回答した方は昨年の合計76.1%から合計38.7%まで減少した。
- コロナ禍の影響で、約2割の方が夏季休暇の取得時期や取得期間に影響があったと回答。そのうち約6割の方が、「旅行などの予定が立てられず、取得を見送った」と回答した。

【コロナ禍での生活の変化について】

質問1 コロナ禍をきっかけに、新しく始めたこと、または量や頻度が増えたものはありますか？ (回答者数：15,656名)

○半数以上の方が、「コロナ禍をきっかけに、新しく始めたこと、または量や頻度が増えたものがある」と回答。年齢が低い方ほど、その割合が高い傾向があった。
○最も多かったのは「不要品の処分」、2番目は「オンラインショッピング」となった。

■新しく始めたこと、または量や頻度が増えたものはあるか

(%)

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
ある	52.5	58.9	63.0	57.3	51.8	45.3	37.1
ない	47.5	41.1	37.0	42.7	48.2	54.7	62.9

半数以上の方が「ある」と回答し、年齢が低い方ほどその割合が高い傾向があった。

■新しく始めたこと、または量や頻度が増えた項目 (複数回答可)

(%)

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
不要品の処分	31.0	17.3	26.6	28.1	34.9	38.7	35.3
オンラインショッピング	29.9	34.6	33.2	33.3	29.1	27.3	14.1
食料品の出前やテイクアウトの利用	21.2	19.8	27.0	21.6	20.8	17.9	15.7
運動	21.0	20.6	19.9	20.7	18.9	22.4	30.3
料理	16.8	18.3	17.2	16.8	17.2	16.1	14.3
飲食の量	16.3	15.4	17.2	18.5	16.1	14.0	13.8
SNSや動画視聴または投稿	12.4	27.1	15.9	11.8	10.7	8.8	4.1
勉強	8.2	12.7	11.2	7.0	7.5	6.7	5.6
貯蓄	6.7	10.3	10.2	6.7	5.5	4.0	4.2
家事・育児	5.8	5.4	10.7	6.7	3.6	4.0	3.4
株式や債券などへの投資	4.5	4.5	5.1	5.1	3.9	4.1	4.1
副業	1.5	2.4	2.3	1.6	1.0	0.9	0.7
その他	5.6	4.0	3.6	4.7	6.2	7.3	9.0

「不要品の処分」は年齢が高い方ほど回答した方が多い傾向がある一方、「オンラインショッピング」は年齢が低い方ほど回答した方が多い傾向があった。

質問2~4は【質問1で「オンラインショッピング」を選択した方への質問】

質問2 コロナ禍前の1カ月あたりの平均購入額はいくらですか？（回答者数：1,787名）

質問3 コロナ禍後の1カ月あたりの平均購入額はいくらですか？（回答者数：1,796名）

質問4 コロナ禍前後で購入額が増えたものは何ですか？（回答者数：1,844名）※複数回答可

- オンラインショッピングを新しく始めた方、または量や頻度が増えた方の1カ月あたりの平均購入額は、コロナ禍前後で約1.1万円増加した。
- オンラインショッピングの購入額が最も増えたものは「日用品」、2番目に多かったものは「食料品」で、それぞれ約4割の方が増加した。
- 「衣料品」「書籍・音楽・動画コンテンツ」については、年齢が低い方ほど購入額が増えたと回答した方が多い傾向にあった。

（以下、オンラインショッピングを新しく始めた方、または量や頻度が増えた方への質問）

■コロナ禍前後の1カ月あたりの購入額の比較

(万円)

コロナ禍前	コロナ禍後	差額
1.4	2.5	+1.1

コロナ禍前後で約1.1万円増加。

■コロナ禍前後でオンラインショッピングでの購入額が増えたもの（複数回答可）

(%)

	全体	~20代	30代	40代	50代	60代	70代~
	日用品	42.1	28.7	50.6	43.4	39.2	44.1
食料品	40.2	20.4	39.5	43.2	42.5	41.8	47.5
衣料品	19.3	26.3	28.5	18.9	15.0	13.8	11.9
書籍・音楽・動画コンテンツ	16.4	29.9	17.2	15.1	16.5	11.5	6.8
化粧品	7.5	15.6	9.9	6.0	5.0	7.3	5.1
スポーツ用品	3.3	3.0	3.5	4.8	2.7	2.3	0.0
その他	12.4	15.0	10.2	12.0	13.2	11.1	20.3

最も多かったものは「日用品」、2番目に多かったものは「食料品」で、それぞれ約4割の方が増加。「衣料品」「書籍・音楽・動画コンテンツ」は、年齢が低い方ほど購入額が増えた方が多い傾向にあった。

質問5 【質問1で「貯蓄」を選択した方への質問】
貯蓄が増えた理由は何ですか？（回答者数：548名）

■ 貯蓄が増えた理由

(%)

	全体	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～
	お金の使い道がなかったため	47.1	56.3	42.8	48.9	46.4	43.8
将来への不安から意識的に支出を抑えたため	43.8	33.8	48.3	43.8	41.6	50.0	45.5
収入（副業以外）が増えたため	3.1	2.8	4.1	2.9	4.0	0.0	0.0
副業の収入が増えたため	0.7	0.0	0.7	1.5	0.8	0.0	0.0
その他	5.3	7.0	4.1	2.9	7.2	6.3	9.1

「お金の使い道がなかった」「将来への不安から意識的に支出を抑えた」と回答した方が多かった。

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 ^{くが なおこ}久我 尚子のコメント>



コロナ禍では家の中で過ごす時間が増えたことで、オンラインショッピングをはじめ、家の中での消費行動が活発化しています。現在のところ、オンラインショッピングでの購入が増えたのは主に生活必需品ですが、今後は趣味的な消費活動に波及していく可能性もあるでしょう。シルバーウィークに街に人が戻ってきたように、消費者の外出行動は徐々に増えていますが、ウイルスとの戦いはしばらく続きそうです。テレワークの定着化も進む中で、家の中で過ごす時間が増えた状況は続くでしょう。例えば、通勤時間に往復1時間半を費やしている方が、週2日テレワークをすると3時間、週3日なら4時間半の時間が浮きます。消費者は、この時間を何に使うのでしょうか。貯蓄理由では将来の経済不安もありつつ、外出を控えていることで、約半数はお金の使い道がないようです。企業のマーケティングチャンスはここにあるのではないのでしょうか。

【夏季休暇について】

質問6～14について<無職、専業主婦・専業主夫除き>で集計

- 質問6 夏季休暇は取得しましたか？（回答者数 13,995名）
- 質問7～12は【質問6で「取得した」と回答した方への質問】
- 質問7 今年の夏季休暇の予算はいくらでしたか？（回答者数 5,232名）
- 質問8 昨年の夏季休暇の予算はいくらでしたか？（回答者数 5,086名）
- 質問9 今年の夏季休暇は何をして過ごしましたか？（回答者数 6,414名）※複数回答可
- 質問10 昨年の夏季休暇は何をして過ごしましたか？（回答者数 6,414名）※複数回答可
- 質問11 【質問9で「国内旅行（宿泊あり）」を選択した方への質問】
GoTo トラベルキャンペーンを利用しましたか？（回答者数 945名）
- 質問12 【質問11で「利用していない」と回答した方への質問】
利用しなかった理由は何ですか？（回答者数 314名）
- 質問13 コロナ禍の影響で夏季休暇の取得時期や期間に影響はありましたか？
（回答者数 13,995名）
- 質問14 【質問13で「あった」と回答した方への質問】
どのような影響がありましたか？（回答者数 2,678名）

- 今年の夏季休暇の平均予算は約3.5万円で、昨年の約7万円から約半分に減少した。
- 夏季休暇の過ごし方は6割以上の方が「自宅・自宅周辺で過ごす」と回答し、「海外旅行」「国内旅行」「レジャー」「帰省」と回答した方は昨年の合計76.1%から合計38.7%と約半数まで減少した。
- 今年の夏季休暇で国内旅行（宿泊あり）をされた方のうち、6割以上の方がGoToトラベルキャンペーンを「利用した」と回答。利用しなかった（できなかった）方の理由は「現在の居住地または宿泊先が東京都」と回答した方が最も多かった。
- コロナ禍の影響で、約2割の方が夏季休暇の取得時期や取得期間に影響があったと回答。そのうち約6割の方が、「旅行などの予定が立てられず、取得を見送った」と回答した。

■夏季休暇を取得したか

(%)

	占率
取得した	45.8
取得していない	48.2
これから取得する	6.0

■今年と昨年の夏季休暇の予算の比較

(万円)

今年	昨年	差額
3.5	7.0	▲3.5

今年の夏季休暇の予算は昨年の約半分に減少。

■今年と昨年の夏季休暇の過ごし方の比較（複数回答可）

(%)

	今年	昨年	対昨年比
自宅・自宅周辺で過ごした	65.7	32.5	+33.2
海外旅行	0.3	5.2	▲4.9
国内旅行（宿泊あり）	14.9	30.0	▲15.1
近場のレジャー（日帰り）	14.1	19.2	▲5.1
帰省	9.4	21.6	▲12.2
その他	3.8	3.9	▲0.1
	38.7	76.1	

6割以上の方が自宅・自宅周辺で過ごした。
「海外旅行」「国内旅行」「レジャー」「帰省」は
昨年の合計76.1%から合計38.7%と約半数まで減少。

■（国内旅行（宿泊あり）を選択した方への質問）GoTo トラベルキャンペーンを利用したか

(%)	
	占率
利用した	61.3
利用しなかった（できなかった）	34.0
検討中	4.8

■ GoTo トラベルキャンペーンを利用しなかった（できなかった）方の理由

(%)	
	占率
現在の居住地または宿泊先が東京都であるため	42.4
手続き方法が分からないため	15.6
手続き方法を知っているが、手続きが面倒なため	5.1
旅行代金の還付は不要のため	5.1
その他	31.8

6 割以上の方が GoTo トラベルキャンペーンを利用。
利用しなかった（できなかった）理由は「現在の居住地または宿泊先が東京都」が最も多かった。

■ コロナ禍の影響で夏季休暇の取得時期や取得期間に影響はあったか

(%)	
	占率
あった	21.2
なかった	78.8

■（影響があったと回答した方への質問）コロナ禍の影響で夏季休暇にどんな影響があったか

(%)	
	占率
旅行などの予定が立てられず、取得を見送った	61.8
仕事や学業が忙しく、取得日数が少なくなった	15.3
仕事や学業が忙しく、取得できなかった	13.6
仕事や学業が忙しくなくなり、取得日数が増えた	9.3

約 2 割の方がコロナ禍の影響が「あった」と回答。
そのうち約 6 割の方が「旅行などの予定が立てられず、取得を見送った」と回答。

<ニッセイ基礎研究所 生活研究部 主任研究員 久我 尚子くが なおこのコメント>

夏は全国的に感染が再拡大したことで多くの方が自宅で過ごすことになりましたが、秋にはいったん落ち着き、10 月から東京も GoTo トラベルの対象となりました。今年の夏季休暇の予算は昨年から半減したため、この浮いた予算が GoTo トラベルなどを利用した秋冬の旅行へ向かう可能性もあるでしょう。一方で、秋冬はインフルエンザとの同時流行の懸念もあります。引き続き外出を控え、家の中で楽しむモノに充てる消費者もいるでしょう。例えば、お正月のおせちをオンラインショッピングで取り寄せる、その際、今年は奮発して豪華なものにするとといった消費行動も見られそうです。

以上

2020-1164G, 広報部